

台風19号の通過に伴い被災されました皆様にお見舞い申し上げます。  
また、一日も早い復興・復旧を心よりお祈り申し上げます。

名 取 北 高 校 だ よ り



名北の風

令和元年度第7号(2019/10/19 発行)

### 芸術鑑賞会を行いました

10月9日(水)に名取市文化会館で芸術鑑賞会を行いました。今年はTEE東京演劇アンサンブル公演の演劇で「音楽劇 消えた海賊」を鑑賞しました。自由を求めて立ち上がる若者たちを描いた、賑やかな音楽劇で、歌って、踊って、生徒を巻き込み、全ての人が劇に引きつけられ、思慮深い内容だったと感じています。ご来場いただいた皆様いかがだったでしょうか。TEE東京演劇アンサンブルの皆様ありがとうございました。



### 芸術鑑賞会に参加して

伊藤祐希 (3年・柳生中出身)

今回鑑賞した演劇は、「自由とは何か」という問いを何度も発してきました。劇の中では、それぞれが自由に対する答えを見だし、「人を殺さない」「命令形のない言葉」等、自由に向けて壁に立ち向かうことを主軸としていました。演劇を見ることにより、自分の中でも「自由とは何か」を考える機会となりました。さらには、音楽劇を鑑賞したことで、他の演劇にはない、観客を巻き込んだ演出や、舞台装置の組み替えも1つの演出として、劇を進めているところを見ることができとても参考になりました。今後、様々な演劇を見る機会があると思いますが、今回の事を忘れずに、舞台裏まで考えながら観劇したいと思いました。TEE東京演劇アンサンブルの皆様ありがとうございました。



### 日本・ベラルーシ友好派遣団報告会に参加

9月29日(日)に宮城エレクトロンホールを会場に日本・ベラルーシ友好派遣団報告会が開催されました。本校からも夏休みにベラルーシに派遣された10名が参加し、立派な報告をしました。開催していただきました皆様ありがとうございました。



### 報告会に参加して

細川隆生 (2年・郡山中出身)

私は名取北高校の代表として、ベラルーシ友好派遣団の活動を報告させていただきました。十分に話したいことをまとめ、原稿も入念に準備したのですが、報告している中で、あれもこれも伝えたいと次々に言いたいことが溢れてしまい全てを言い尽くすことはできませんでした。他校の方々の報告を聞いていても、ベラルーシでの活動を満喫している事がわかる報告内容で様々な思いが蘇ってきました。ベラルーシから帰国して1ヶ月が過ぎた報告会でしたが、旅路を共にした友人との友情や思い出も何一つ色あせていませんでした。ベラルーシを訪問した経験は、私にとって生涯の宝物であることを報告会をとおして感じました。



### カナダを知る講演会&市民交流会に参加

10月1日(火)に名取市文化会館で復興ありがとうホストタウン推進実行委員会主催のカナダを知る・ふれあう・あじわう市民交流会に生徒15名が参加しました。実行委員の皆様大変お世話になりました。

### カナダを知る市民交流会に参加して

須藤かさね (1年・郡山中出身)

私は、市民交流会に参加してカナダからお出でいただいた皆様と楽しく交流できたことを本当に嬉しく思います。カナダで人気のチキンダンスを教えていただきながら大いに盛り上がる事ができました。また、カナダの国旗にも描かれている楓の木から採れるメープルシロップを使用したヨーグルトが特においしく感じました。英語と日本語を交えながら、お互いの国での生活や文化についてお話をすることがたくさんできました。カナダでの生活や文化、特に食べ物について興味がわいてきました。今後はさらに英語を勉強して、自分の力でカナダへ行ってみたいと強く感じる機会になりました。お招きいただきました実行委員の皆様、お話をいただきましたカナダからお出での皆様、有意義な時間をありがとうございました。



### 学校公開(授業公開)を行います

10月28日(月)～11月1日(金)

本校では、この期間の、午前9時50分～午後12時40分(2～4校時)に学校公開(授業公開)を行います。学校内(授業)をご覧いただき、授業改善を目的とした簡単なアンケートにもご協力をお願いしております。なお、この期間は食堂もご利用いただけます。ご来校をお待ちいたしております。

今月は、十月一日（火）に「いじめ予防講演会」で講師をお願いいたしました石巻専修大学客員教授の**木村民男**様をインタビューしました。木村様は、石巻管内の中学校の教員として勤務され、同管内の中学校長で退職後、東松島市の教育長、そして現在は、石巻専修大学にお勤めになつておられます。剣道教士七段、居合道五段をお持ちで、木彫（河北美術展入選8回）を趣味とされています。

## 「恕」

### 石巻専修大学客員教授 木村 民男 様

#### A Q 北高生の印象は

A 後期の全校集会を体育館入り口で拝見させていただきました。

校長先生の話を聞く整然とした名取北高校の生徒の皆さんの後ろ姿に感銘を受けました。

#### 北高生にメッセージを！

A 私が皆さんに伝えたかったことは人生の岐路である高校生活を輝かしいものにしてほしいということです。そのために「人生絶対不変の四原則…人間は必ず命が尽きる、人生はやり直しができない、自分の人生は自分しか歩むことができない、私という人間はこの世で一人しかいない」ということを話しました。

かけがえのない自分の人生を大切に、他の人をも大切にしてほしいという願いを込めて話したつもりです。弱者をいじめるといことは恥ずかしいことであり、情けないことであり、卑怯なことです。そんなことでしか自分の居場所を見つけないということはつまらない人生です。いじめをしている人にとっては小さなことでも、いじめを受けた人は心に大きな傷跡が残ります。

孔子は「恕」が大事だと言っています。他を思いやる心です。名取北高校の皆さん一人ひとりが自分の天分を見つけ、自分のために世の中のために自分を磨きあげてほしいと願っています。

そのような人生を送ってほしいという願いから「こんな顔で山田寺の仏頭に寄せて」という相田みつをさんの詩を紹介しました。

生徒の皆さんを見守る先生方の姿からも生徒をさらに良くしようという真摯な情熱と温かさを感じました。名取北高校が「夢と感動のある楽しい学校」になることを願っています。貴重な時間をつくっていただきありがとうございました。



## 北高生は新人大会でも力を発揮しました

9月6日（金）～8日（日）弘進ゴムアスリートパークを会場に陸上競技の新人大会が、9月20日（金）～22日（日）セントラルスポーツを会場に水泳の新人大会が開催されました。陸上競技では**高橋真理**（2年・八軒中出身）がやり投げで優勝、**高橋璃乃**（2年・増田中出身）が**5000m**で第4位に入賞し東北新人大会へ出場を決めました。水泳では、**鈴木諒**（2年・郡山中出身）が**100m**背泳ぎで第2位となり東北大会出場を決めました。応援いただきました皆様ありがとうございました。

### 「やり投げ」で優勝して 高橋真理（2年・八軒中出身）

自分たちの先輩が一線を退いて、言い訳のできない立場に立って臨んだ新人大会で、記録は昨年



の優勝記録には及びませんでしたが、自己ベストで優勝することができました。絶対に優勝するという強い気持ちで投げた一投で、嬉しさと安心とで気持ちが一杯でした。来年の県総体ではインターハイ出場を目標とし、これからの練習に取り組みたいと思います。応援いただいた皆様、ありがとうございました。

### 陸上競技東北大会に参加して 高橋璃乃（2年・増田中出身）

ずっと目標にしていた**5000m**競歩で東北大会に出場することを叶えることができました。今までに経験したこと



のない大きな舞台で、緊張の中、自己ベストを更新することができました。苦しいけど楽しさを感じたレースもこの東北大会が初めてでした。しかし、まだまだ満足のいくタイムではありません。この悔しさを練習に活かし今まで以上に頑張りたいと思います。応援いただきました皆様ありがとうございました。

### 水泳東北大会への抱負 鈴木諒（2年・郡山中出身）

昨年の県総体・新人大会では納得のいく順位とタイムを出すことができませんでした。悔しい思いをしました。悔しさをバネにこ



こまで練習を重ねてきました。そして、新人大会で、高校入学後初めて納得のいく順位とタイムを出すことができました。東北新人大会では、更にタイムを縮め、決勝進出及び上位入賞を目指し、気合いを入れて頑張りたいと思います。先生方やコーチ、仲間への感謝の気持ちを忘れず笑顔で宮城に帰ってこれるようにしたいと思います。応援よろしくお願いします。